

Enriching lives and the world



Enriching lives and the world

2024年4月1日付で社長に就任いたしました上野真吾です。

私たちを取り巻く環境は、歴史的な転換点を迎え、複雑・急速な変化も加わり、舵取りが難しくなっています。

このような中で、住友商事グループもまさに転換点を迎えています。

2023年度までの中期経営計画「SHIFT2023」では、構造改革を断行し、あらゆる事業とその戦略の見直しを行った結果、

足腰のしっかりした経営基盤が整い、次なる成長ステージへと昇華できる環境を作り上げました。

本年5月に発表予定の新中期経営計画では、さらなる高みを目指して、飛躍的かつ持続可能な成長を遂げるべく、

組織体制、事業ポートフォリオ、人事施策、意志決定の体制など聖域なき変革を実行します。

そして、多くの事業パートナーや取引先をはじめとするステークホルダーの皆さまとともに、強い事業が集まる「No.1事業群」を目指します。

住友商事グループの経営理念と行動指針、その根幹となる住友の事業精神の普遍的な価値観をベースにもちながら、

気候変動問題を含む重要社会課題の解決を進めていきます。

コーポレートメッセージである“Enriching lives and the world”を体現し、進化を続ける、新しい住友商事グループに、どうぞご期待ください。

代表取締役 社長執行役員 CEO

上野真吾

住友の歴史から



詳細はこちら

住友家初代・住友政友が商人の心得を説いた「文殊院旨意書」が原点。

銅をはじめとする貿易で繁盛した住友の創成期。

住友の歴史は、17世紀に初代住友政友(まさとも) [1585-1652]が京都に書林と薬舗を開いたことに始まります。

政友は商人の心得を説いた「文殊院旨意書(もんじゅいんしいがき)」を残し、その教えは今も「住友の事業精神」の基礎となっています。

「文殊院旨意書」の冒頭には、「商売は言うまでもなく、人として全てのことに心を込めて励むこと」と、一人一人が単なる金もうけに走ることなく、人間を磨き、立派な人格を醸成することを求めています。

そして本文では、正直・慎重・確実な商売の心得が説かれています。

一方、住友の事業は養子の二代住友友以(とももち) [1607-1662]から銅精錬業となります。そのルーツは16世紀に友以の実父蘇我理右衛門(そがりえもん) [1572-1636]が開発した銀銅分離の精錬技術

「南蛮吹き」によるものであり、事業の歴史から見ると約430年の長きに及びます。二代友以は、初代政友の事業精神を継承し、京都から大阪に進出すると、同業者に「南蛮吹き」の技術を公開し、

住友は「南蛮吹きの宗家」として尊敬され、同時に大阪は日本の銅精錬業の中心となりました。



慶長年間(1596~1615)に住友が完成させた
新技術「南蛮吹き」



政友が残した「文殊院旨意書(もんじゅいんしいがき)」



住友政友(1585~1652年)の木像

(写真提供:住友史料館)

住友の事業精神



詳細はこちら

「住友商事グループの経営理念・行動指針」の原点は、創業以来約400年にわたり脈々と受け継がれてきた「住友の事業精神」。

「住友の事業精神」とは、住友家初代の住友政友(1585-1652)が商売上の心得を簡潔に説いた「文殊院旨意書(もんじゅいんしいがき)」を基に、住友の先人たちが何代にもわたって磨き続けてきたもので、その要諦は「営業の要旨」として引き継がれています。

営業の要旨

- 第一条 我住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし以て其の鞏固隆盛を期すべし。
第二条 我住友の営業は時勢の変遷理財の得失を計り弛張興廃することあるべしと雖も苟も浮利に趨り軽進すべからず。

営業の要旨 口語訳

- 第一条 わが営業は、信用を重んじ確実を根本理念とし、これにより住友が盤石に、ますます栄えるようにしたい。
第二条 わが営業は、時代の移り変わり、財貨運用の損得を考えて、拡張したり縮小したり、起業したり廃業したりするのであるが、いやしくも目先の利益に走り、軽々しく進んではいけない。



住友商事グループの経営理念・行動指針

住友商事グループの価値判断のよりどころは、「住友商事グループの経営理念・行動指針」にあります。

住友商事グループの「経営理念」は、住友約400年の歴史に培われた「住友の事業精神」をベースに、今日的かつグローバルな視点を加えて、平易かつ体系的に整理し直したものです。「行動指針」は、経営理念を実現するための企業および役員・社員の日常の行動の在り方を定めたガイドラインです。

目指すべき企業像

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。

経営理念

〈企業使命〉

健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する。

〈経営姿勢〉

人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする。

〈企業文化〉

活気に溢れ、革新を生み出す企業風土を醸成する。

行動指針

- 住友の事業精神のもと、経営理念に従い、誠実に行動する。
- 地球環境の保全に十分配慮する。
- 法と規則を守り、高潔な倫理を保持する。
- 良き企業市民として社会に貢献する。
- 透明性を重視し、情報開示を積極的に行う。
- 円滑なコミュニケーションを通じ、チームワークと総合力を発揮する。
- 明確な目標を掲げ、情熱をもって実行する。

6つの重要社会課題の設定と、サステナビリティ経営の高度化



詳細はこちら

住友商事グループは、社会とともに持続的に成長するために、サステナビリティ経営の高度化の一環として、当社に関わりが深い6つの重要社会課題を選び、それにひも付く長期目標・中期目標を定めています。

住友商事グループは、事業と社会との関わりを明確にするため、2017年にマテリアリティを特定し、一つの事業が社会の抱えるさまざまな課題の解決に貢献することを意識した経営を行ってきました。

2020年6月に定めた重要社会課題は、住友商事グループのサステナビリティ経営を一步進め、自らの強みである人的リソースやビジネスノウハウ、グローバルなネットワークやビジネスリレーションを生かして、持続可能な社会の実現にどのような役割を果たすのかを、より明確にコミットするためのものです。

重要社会課題は、社会の発展の基礎であり、住友商事グループの事業活動の前提である「社会の持続可能性」と、持続可能な社会の実現に必要なソリューションを生み出す「社会の発展と進化」という、相互に関連する二つのテーマからなっています。

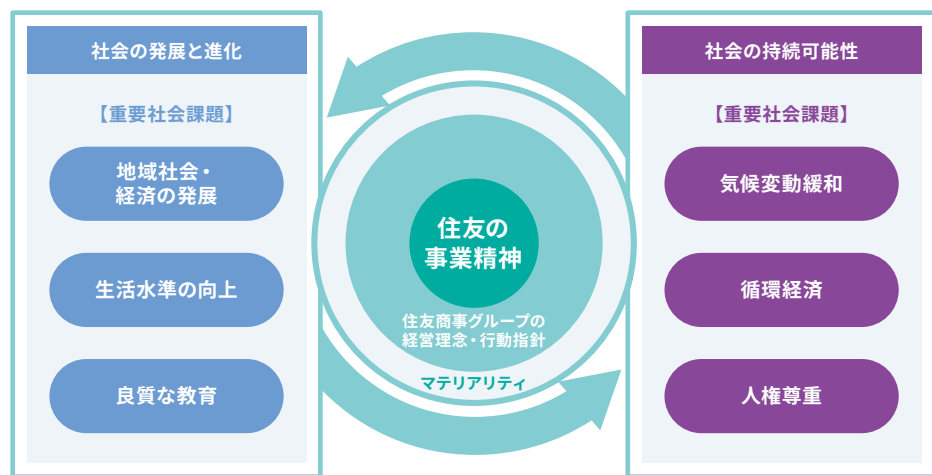
住友商事グループは、重要社会課題に対する中期目標ならびにKAI・KPI⁺を設定し各課題への取り組みを推進するとともに、その進捗を開示しています。

*KAI : Key Action Indicator KPI : Key Performance Indicator

住友商事グループの目指すサステナビリティ経営の高度化は、重要社会課題や目標の設定にとどまりません。

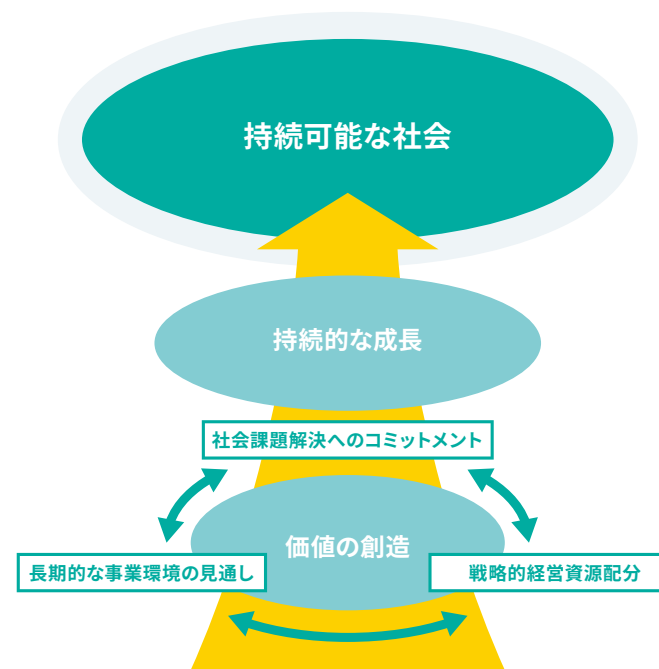
我々の社会が直面する課題の解決に向けて、住友商事グループの果たす役割を明確にコミットすることに加え、社会課題を巡る長期的な事業環境変化を見通して、戦略的に経営資源を配分し、社会が真に必要なとする価値を創り出していきます。

持続可能な社会の実現と自らの持続的な成長がしっかりと重なった姿が住友商事グループのサステナビリティ経営です。



- 総合商社の多様な人的リソース
- 多彩なビジネスノウハウ
- グローバルネットワーク
- 事業パートナーや取引先とのビジネスリレーション

社会とともに持続的に成長

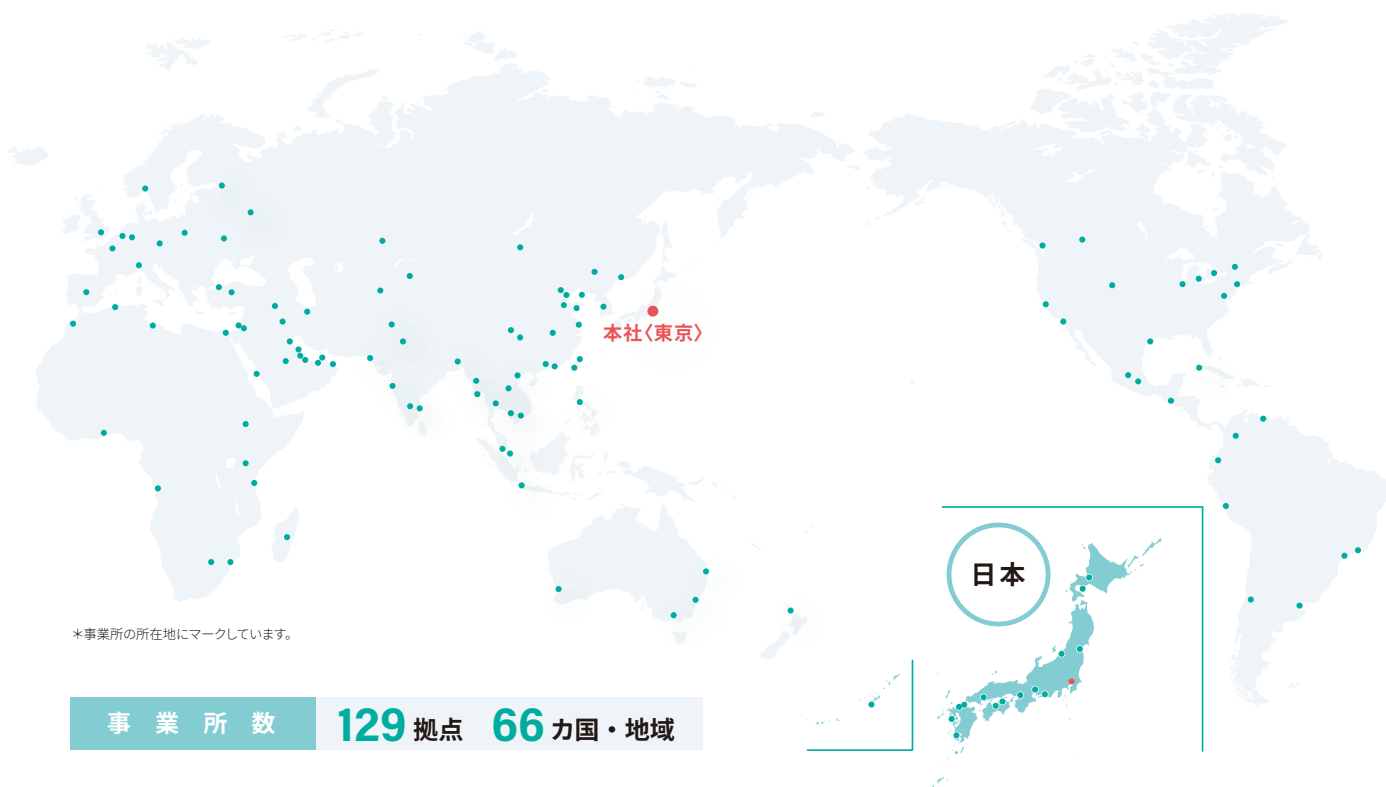


住友商事について

グローバルネットワーク

(2023年3月31日現在)

(2023年3月31日現在)



株主資本 (親会社の所有者に帰属する持分)	3.8兆円	
純利益	5,652億円	
連結対象会社数	886社 (78力国・地域)	
	連結子会社: 636社 (日本135社 海外501社) 持分法適用会社: 250社 (日本50社 海外200社)	
社員数 (連結ベース)	78,235人	
企業評価	FortuneGlobal 500	世界の発展を牽引するグローバルカンパニーの1社として、米フォーチュン誌の選出するFortune Global 500に28年間選出されています。

国際会計基準 (IFRS) に基づく



詳細はこちら

当社の強みを結集する9つの「グループ」のもと、各事業領域で市場の変化や社会のニーズを先取りし、産業の枠組を超えた価値創造により、社会課題を解決することで企業価値向上を目指します。

鉄鋼グループ	自動車グループ	輸送機・建機グループ	都市総合開発グループ	メディア・デジタルグループ	ライフスタイルグループ	資源グループ	化学品・エレクトロニクス・農業グループ	エネルギー・トランスフォーメーショングループ
--------	---------	------------	------------	---------------	-------------	--------	---------------------	------------------------

(2024年4月1日現在)

Enriching lives and the world

時代に揉まれ、社会に寄り添い、人に支えられて、今日のわたしたちがあります。

浮利を追うことなく、信用を大切にしてきたのは、人や社会を豊かにする「ほんとうの価値」をつくるため。

そして、未来に向かって、何もかもがめまぐるしく変化している今……

それが何かを確かめるために、自らのしごとの意味を考えます。

それは、出会い、尽くし、役立つこと。

それは、苦しみ、乗り越え、強くなること。

それは、切り拓き、つないで、明日をつくること。

わたしたちは知っています。

そのとき、ひとりの情熱が生み出す価値を。

けれども、ひとりの力には限りもあることを。

だから、わたしたちは思いをひとつにします。

世界じゅうの地域、多様な文化、そこに生きる人々……

すべてに心を尽くして思いをひとつにすることが、見たこともない世界を実現する大きな力を生みだすのです。

夢も、志も、わたしたちのつくる価値もすべてあなたと共にしながら、未来を豊かさで満たしていく。

変わることはない、私たちの誓いです。

住友商事株式会社

〒100-8601

東京都千代田区大手町二丁目3番2号 大手町プレイス イーストタワー

TEL:03-6285-5000(代表) URL:<https://www.sumitomocorp.com/>



住友商事は、大阪・関西万博の
「住友館」に参加しています。

